

Rotary



白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB

創立 1986 年

2022～2023年度クラブ目標

『想像しよう、未来のロータリー
創造しよう、これからのクラブ』



イマジン
ロータリー

会長 高 畠 裕
幹事 車 田 裕 介



2022～23年度国際ロータリーテーマ

第1728回例会

令和4年9月22日(18:30～19:30)

○ソング

- 奉仕の理想

○スマイルBOX

- 高畠裕会長（本日はホームミーティングの報告ありがとうございました。各班の班長さんと書記さんご苦勞様でした。普段なかなかお話の出来ない会員さんと親しくなれる機会ですので、次回も楽しみにして下さい。）
- 永野文雄会員（秋の彼岸に入りメッキリ寒くなりましたね。体調管理に注意しましょう。ホームミーティング発表の皆様ご苦勞様でした。）
- 金田昇会員（めっきり涼しくなりました。食欲とスポーツの季節です。来月のイベントが楽しみです。）
- 鈴木孝幸会員（ホームミーティング池田班長お世話になりました。先週、先々週と職業奉仕にて例会を欠席しまして失礼致しましたのでスマイル致します。）
- 吉田充会員（10月1日前夜祭に多くのメンバーに参加していただき、今回の大会を盛り上げていただければありがたいです。）
- 運天直人会員（高畠会長、本日の会長の時間でスマイルの件をお話し頂き、ありがとうございました。スマイルボックス委員長としてこれからも呼びかけて年間目標を達成したいと思いますので、今後ともよろしくお願い致します。）

▶第1728回例会出席状況 (R4年9月22日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	52名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	14名
Ⓓ 全正会員数	66名
Ⓒ ①の出席者数	26名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	3名
Ⓕ ②の出席者数	8名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	37名
Ⓗ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	60
Ⓘ = ⑥ / ⑨ × 100 (例会出席率)	61.6%



▶例会日：第1・第3木曜日(12:30) その他の木曜日(18:30～19:30)

▶例会場：白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局：〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5(白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

本日のプログラム

■会長の時間

高島裕会長



皆さん、こんばんは。台風の影響のほうはなかったでしょうか。大丈夫でしたでしょうか。台風も去って、昨晩は非常に寒くてすっかりもう秋だなあという感じがつくづくと感じたと思います。さて昨日、私と車田幹事で南ロータリークラブさんのほうに表敬訪問して例会のほうにメークアップをしてきました。ということで、南クラブさんのほうは昨日の例会ですと出席会員数が7名ということで、本当にアットホームな感じのホームミーティング的な例会だったなということで開催されました。お話の内容は、会長のお話の後に昨日は会員であります鈴木俊雄さんのお話で、戦争と経済というようなお話をして大変になる内容のお話でした。そこで私なりに思ったんですが、やはり例会の場において内容的にはほとんど変わらない内容で開催されていますが、やっぱり一番西クラブと違うのはスマイルですね。人数が7名の例会で開催される時に、スマイル出してないと意外と目立ってしまうということ、ほとんどの方が全員出していました。このスマイルも西ロータリークラブに来ますと、大体40名から45名の方が常に参加されていますので、逆に出さなかった方が目立たないみたいな感じになって真逆のスタイルですね。7名でやるとスマイルをしてない方が非常に目立ってしまうということで、全員が毎回スマイルしてるような形になっております。我がクラブも年度目標はスマイルで150万円という目標を立てております。人数割りにしますと、一人2万円ちょっとだと思んですが、このスマイルの在り方についてもこれからいろいろ皆さんと一緒に考えていかなければいけないのかなと思っております。なかなかスマイル出すタイミングも大変でしょうし、あるいはスマイルを出すのはいいんだけど書くのが面倒くさいとそういった方もいらっしゃると思います。いろんな形で奉仕事業に使われるスマイルになりますので、なるべく皆さんにご協力いただけるようお願いを申し上げたいと思います。また、新人というかまだ入って間もない方にとっては、スマイルの意味がよくわからないという方もいらっしゃると思います。西ロータリークラブは、誕生日だったり結婚記念日には記念品をいただくことになっております。その際、一応5千円がスマイルですよということで、何となく暗黙の了解というふうな感じになってますので、その辺新人の会員の方

ご理解をいただいて協力をいただければと思っております。あと、書くのが面倒くさいという方、千円からでもとりあえずスマイルということで受け付けておりますので、是非その辺もご協力いただければと思います。会員数が多い分、スマイルのほうも上がってはくるんですが、パーセンテージから行くと多分スマイルをしていただいている方が比較的少ないと思っております。こういった内容も、今後ロータリー情報委員会の皆さんにご協力いただいて、パスト会長の皆さんで構成されてますので、新人の方に大変になるようなお話を例会の中でしていただければ、ロータリーの基本中の基本をまず教えていただけるような機会を設けていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。また、先週そして先々週くらいからは、ホームミーティングのほう開催されまして、班長の皆さん、そして書記の皆さんには大変ご苦労されたことと思ひます。また、このホームミーティングの在り方についても会費制であるのは当然であります、誰がどのくらい負担するのか、こういった部分も、班長される方に負担なるべくかからないような形で開催できればなと考へてもおひます。その辺もこれから皆さんと一緒に検討を重ねて、より良いホームミーティングが開催できるように挑戦していきたく思ひますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。あと、わたくし事で最後になりますが、鹿島神社の祭礼が先日ございました。私も筆頭が終わってから8年になるんですが、最後元方さんという上のほうに上がるにあたり、今回最後に正装をさせていただひてお祭りのほうに参加させていただきました。今までで一番楽しいお祭りだったなと自分の中では感じておひます。皆さんにとってもお祭りがどういふものであつてどうあるべきなのか、いろいろ考へ方はあると思ひます。子供の数も少ない、壮者の数も少ない、そういった中でお祭りを開催していくことに関していろいろ皆さんの意見もあると思ひます。これはクラブとはまた全然別の話ですが、皆さんと懇親の場があればこういった話も伺つて少しでも参考になればなと考へておひます。ということで、今日は各班のホームミーティングの報告ということで、女性会員を増やすためにはという内容と、それからもう一つは今現在クラブにおける問題点と考へられるその改善策ということでテーマを提出させていただきました。より良い場が設けられたのかなというふうに感じておひますので、今日書記の皆さんの発表楽しみにしておひます。どうぞよろしくお願ひしたいと思ひます。

■幹事報告

車田裕介幹事

- ガバナー 佐藤正道、地区戦略計画委員会委員長 平井義郎：会員アンケートのお願い（会長宛・会員宛）
- ガバナー事務所：佐藤正道ガバナー公式訪問予定表
- 猪苗代ロータリークラブ、環境保全委員IT推進委員米山委員長 佐瀬真：2022年度漂着水草除去事業で開催できない日程
- 地区事務所 芳賀美宝子：9月11日開催ロータリー財団「クラブ活性化ワークショップ」資料送付について／10月22日開催「青少年奉仕委員会セミナーのご案内」について
- ガバナー 佐藤正道、地区大会実行委員長 星富士雄：2022-23年度地区大会資料についての補足説明
- 県南分区ガバナー事務所 郡部仁喜：「地区大会タイムスケジュール」「地区大会資料」
- ガバナー事務所事務局 佐藤直子：ガバナー公式訪問同行者一覧表送付について／〔プログラムおよびご登録のご案内〕第51回ロータリー研究会／10月公式訪問同行者の変更について
- 県南地域人材育成推進協議会会長 牧野富雄：令和4年度県南地域人材育成推進協議会総会の書面開催結果について（通知）
- ガバナー補佐 佐藤正道、職業奉仕委員会委員長 齋藤純一：「職業奉仕委員会セミナー」開催について

■委員会報告

○野球愛好会

吉田充会員



皆さん、こんばんは。10月1日、2日でロータリー東北野球大会が開催されます。それで、この大会の目的として野球を通して親睦の輪を広めようということが目的の一つに掲げられています。そこで、今回参加する東北からのロータリークラブをご紹介します。高島ロータリークラブさん、福島の川俣ロータリーさん、岩手の大船渡ロータリーさん、福島の福島西ロータリークラブさん、岩手の大船渡西ロータリークラブさん、宮城の仙台東ロータリークラブさん。それと白河西ロータリーの7ロータリーが参加します。前夜祭は1日なんですけど、多くのメンバーが東北から集まってくるので、できれば多くの会員の方々をお迎えしていただければありがたいなというふうに思います。会長も挨拶をしますし、金田パストガバナー補佐のほうから乾杯のご祝辞をいただくような手はずとなって準備をしておりますので、白河西ロータリーメンバーが少ないと少し寂しいので、今現在8名の参加というふうには聞いておりますので、10名15名20名と多くの皆さんに参加していただいて、親睦の輪を広めていただきたいなというふうに思いますので、よろしくお願

します。それともう一つ、今、野球愛好会と親睦委員会の方々と準備をしておりますので、本当にこれから例会終わってからまたそういった準備のお話をするために集まさせていただきます。そんな部分で進めているので、皆さんに参加していただきたいなというふうに思います。最後になりますが、本日、永野パスト会長、成井パスト会長から、野球愛好会の皆さんに激励金として大枚をいただきましたので、この場を借りてご報告させていただきます。

■本日のプログラム

○ホームミーティング報告

・第1班

遠藤敦会員



第1班ホームミーティングの報告をいたします。9月9日6時半より「タントゥ」でおこないました。班長は阿部克弘班長、書記が私、遠藤。参加者は、佐藤清作パスト会長、成井正之パスト会長、齋藤孝弘会員、松永紀男会員、新人の方で鈴木浩一郎会員のメンバーでおこないました。今回の課題が、女性会員を増やそうというお話だったんですけど、佐藤清作パスト会長が福島県の私どもの所属する2530地区は会員数が2210名いるそうです。それで、女性会員が169名。そうしますと、女性会員の比率が7.6パーセント。私ども白河西ロータリークラブは会員が65名、女性会員が6名。そうしますと、9.2パーセント。私どもは西クラブは女性会員は多いほうじゃないかと、そういうふうな意見が出ました。どうやって女性会員を増やそうかというお話が出たんですけど、私ども男性から見ますとなかなか女性の経営者とか知り合いが少ない。ですから、女性会員の方からこんな方がいますという推薦、お名前をいただいて会長とか増強委員とか私どもで説得に入るような形がいいんじゃないか。あとは意見としては、少しランクを下げてもいいんじゃないか。今、病院の医者とか医院長さんがロータリー会員なんですけど、なかに看護婦長とかそういった方もランクを下げれば女性の数も増えてくるのではないかと。あと銀行は支店長が今会員になっているんですけど、そのもう少し下の女性の部長とか課長クラスの方も推薦してもいいのじゃないかと、そんな意見が出ました。今、介護の仕事がどんどん増えてます。今、大住さんが介護で入ってるその他の介護関係のほうも、声をかけると女性の責任者がいるんじゃないかというお話も出ました。もう一つはロータリークラブの問題点。当クラブ、私から見まして西クラブはまとまっていますし、良いクラブだと思います。ただ、今回集まった会員の中からは入会后新人会員のカリキュラムをこういうふうにしたほうがいいんじゃないか。あと、西クラブの欠点は、例会は問題ないんですけど懇親会に入ると、うちはJCから

入った方が多いので、J Cのノリで先輩、後輩の言葉遣いも少し気を付けたほうが、年配者の会員から見るとちょっと心配してました。あと先程の、女性会員を増やそうという意見の中で、今回私どもの班の中から会員の女性同伴例会をやったら、またいろんな意見が聞けるんじゃないかとそんな話も出ました。

・第2班

池田浩章会員



皆さん、おばんでございます。ホームミーティング第2班のほうでございませうけども、9月14日水曜日6時半から、場所は白河駅前の「タントウ」さんでおこなわれました。参加者は、班長に富永章パスト会長。それから参加者の方ですが、鈴木孝幸パスト会長、仁平喜代治会員、山田顕一郎会員、大住由香里会員、白岩修一会員、書記の私の7名でおこなわれました。十文字光伸会員さんは、体調不良のために欠席ということでありました。これからテーマについて述べていきたいと思ひますけども、会員名は申し訳ございませうが伏せさせていただきます。私個人的なものなんですけども、以前に会員さんのお名前を言ひて報告した時に、それが週報となって活字に残るわけですよ。それでその週報を見た奥さまにちょっと怒られたらしくて、その会員さんと気まずい思ひになってしまったということがあったそうなので、今回は名前を伏せて発表させていただきますと思ひます。まず、テーマ1の女性会員を増やすにはということございませうが、司会者の方が周囲を見渡しましてレディファーストということで、女性会員さんがファーストで選ばれました。開口一番、大変入りづらかったということございませう。男性ばかりの集まりというイメージで、何をしているのかよくわからなかったそうございませう。入会するにあたっては、知っている方がいれば繋がるのかなということございませうけども、その女性会員さんは根本あゆみさんに誘われて入会し、入会したらしたで周りの方が気を使ひていただき優しく接していただいたおかげで今に至っているということございませう。入会して良かったですかという司会者の質問に対しては、自分は地元ではなかったで繋がりがない。ロータリー活動を通じて、友達が出来たりして大変幸運で良かったなというお言葉ございませう。続きまして、長老の会員さんの質問ございませうけども、普段女性に声をかけるということが難しいという事で、臆することが多いということ、結果的には女性会員を増やすには女性会員で勧誘するのが一番いいのかなというお話ございませう。また、若手会員の方、前にお父様がこの西ロータリーにお世話になっていたということ、西ロータリーのことはよく知っていたのでございませうけども、やはり敷居が高く思ひ

なかなか入会できなかった。入会したての頃は、周りに面識もなく例会等で大先輩ばかりで挨拶程度で済ませていましたけども、そんな時に思ったのがこのホームミーティングがすごく大事でいいなと思ったそうございませう。例会ですと人の話は聞きますけども、自分から進んで話すことがなかなかなかったりして、国レベル的な話やこの方はどういう仕事をやられているのか興味があつても、話す機会がなかったりきっかけが作れなかったそうございませうが、そのホームミーティングを利用して女性会員を募るようにしたらいいのではないかなと。例えば、慣らし運転のように一度ご招待して雰囲気慣れてもらひ、それから例会にオブザーバー的に連れてきて、より慣れていただきそれから入会の手続きを踏んでいけばいいのかなという意見ございませう。また、女性会員の方からは商工会婦人部の方々をお誘ひしてはどうかということがございませう、前の週にジロ・デ・シラカワの緑川事務局長さんですか、といった方とか、あと会長経験者の方からは矢吹の「フジ機工」の娘さん、石川さんのお友達ということで、その方たちをお誘ひしてはという具体的にお名前が挙がりました。また、昨年度の会長経験者の会員さんは、居川パスト会長さんと当時の須藤幹事さんの3名で「グランディ那須白河」の我妻菊代総支配人さんを入会に誘ったけれども実現できなかった。女性は自分から進んで入りたいと思ひ方でない、ロータリーには入る傾向がなかなかございませう、お友達の経営者とか友人ということでお誘ひしていったらいいんじゃないかというお話ございませう。それから、次にテーマ2の現在のクラブの問題点と解決策はということ、中堅の会員さんですが、その方のいう事には、若手にはもっと優しく接してもらひたいということございませう。また、若手の会員の方は、大変衝撃を受けたということ、ゲストの方の卓話の際に会員の皆様が食事しているのはちょっと失礼に当たるのではないかというご意見ございませう。それに対して、会長経験者2名の方がいらっしやいまして、同じような解決策ということで、1時間という制限のある中で食事をして卓話をしてもらひたいことは無理なので、そういったことで食事しながらの例会というのは仕方がない。そういったことで、あらかじめ紹介者の方や、またS A Aの方が初めから話している時に食事している方がいますよといったことを話していただければいいんじゃないかなという意見ございませう。そして、会員の方々はできるだけ早く出席して早めに食事を終わらせるということが大事じゃないかという意見ございませう。続きまして、中堅の会員の方より出席率が悪いんじゃないかというお話ございませう。無理やり引っ張られて入った方もいるかもしれないし、会員が多いのと出席率が悪いのはある程度比例はするんですけども、先程言ったよ

うにホームミーティングが楽しかったとか、仲間意識が出来て出席するようになり、その方たちに役を与えたり責任を持たせてあげれば結構出席するのではないかということで、その辺大いに若い方にも役を与えるようにしたらいいのではないかというお話がありました。それから、フリータイムになりましていろいろ犬に噛まれた話だの、新型コロナのことや白河ちょうちん祭りのことなんかありましたけども、その中でここ2~3年の会長さんがとても素晴らしいというお話がございました。吉野前会長さんは接客業をされているせいか、話術が素晴らしく右に出る方もいないんじゃないかということでございました。また、女性会員の方からは中目会長さんは話がお上手で大変変わったということでございまして、祝詞が半端なく素晴らしく県内でも2~3本の指に入る素晴らしい会長さんじゃないかというお話もございました。また、現会長さんである高畠さんは議員をやられてるせいか時間どおりに話をまとめたり、本当に素晴らしい会長さんだということでございます。その他いろいろお話があったんですけども、私のほうもちょっと酔っぱらってきまして、大体この辺で終わりたいと思いますけども、最後に班長さんがお支払いの時、例えば3千円会費を取ってそれ以上かかるお金をかぶったりするのは問題だと。会費はお酒を飲む人飲まない人、その辺のハンデを考えてある程度均等割りにはしていいんじゃないかなというお話がございました。そんなことで、第2班の報告を終わりたいと思います。

・第4班

吉野敬之会員



皆さん、こんばんは。それでは、第4班の発表させていただきます。わたくしたち第4班は、9月13日に「タントウ」のほうでやらさせていただきました。メンバーは、前原委員長と金田パストガバナー補佐、関谷パスト会長、藤田龍文君、それと吉成真五郎さんで開催させていただきました。まず、お話のほうは、女性会員を増やすにはというような議題のほうをいただいて、こちら真五郎さんのほうでなんで女性会員を取って増やさなくちゃいけないんだと。男女機会均等法でも男女平等だろうと。女性、男性に関わらず、まず増やすというふうな方向でいいんじゃないかというようなことを言っていました。私はちょっとたしなめておきましたけども。それと、女性の気持ちは女性に聞くのが一番早いんじゃないかということで、女性の方に今入ってらっしゃるメンバーが何故入ったか。そして、入ってどういふふうに感じてらっしゃって、何か問題点があるのか、改善点があるのかというようなことを聞いたら、更に入りやすいような環境ができるんじゃないかというようなことがお話として出ておりました。金田パ

トガバナー補佐のほうからは、地区のほうの実情を含めて地方のクラブの実情がそれぞれあるので、これもまた女性を増やすというのは一つのプロパガンダみたいなものがあるって、取って女性女性と言ってるわけではないけど、そういったことを切り口として、やはり男性が大半なので対象者として女性が多いのでそういう方たちを対象にしていくのは決して間違いではないんじゃないかということで、そういうふうな目標がよく口に出るといふことで真五郎さんがたしなめられておりました。これも真五郎さんが言ってたんですけど、会長が目標立てれば俺は従うと。まずは、目標立ててくれって吉成真五郎さんは仰っていました。あと、これは全員というわけでもないんですけど、会員拡大ということで非常にここ何年間拡大路線を取っておまして、充実した人数で充実した人材が西クラブは豊富である。それで、今は増やすということも一つのベクトルとしてはいいんじゃないかと思うけども、その質を重視するべきではないか。そういうご意見もありました。それで、出席率の問題というのは常にそれと相まって出てくることでありますけれども、これはやはり人数が増えれば、ある一定程度一生懸命働くアリアがいて、普通に働くアリアがいて、怠け者のアリアがいるということで、私とか高畠会長みたいな一生懸命働くアリアがいれば、真五郎さんみたいな怠け者のアリアもいるということで、増やしたら増やしたで怠け者のアリアの比率は変わらないから、あまり増やすことだけでもないんじゃないか。質重視でいったほうがいいんじゃないかというお話も出ておりました。もっといろいろお話したい事はいっぱいあるんですけども、ちょうど時間になるのでこの辺で。最後に、天神山の裏の火事、宇都宮製紙工場の大火事の話が非常に盛り上がりまして、昔話に花が咲いたということで、以上でございます。

○中目公英会員



皆さん、こんばんは。なんか私の話が上手いとかなんかという話が出たばかりで、ドキドキしながら喋っています。鳴島SAAのほうから振られましたので、簡単に皆さん方にご案内をしたいと思っております。今月9月17日から11月13日まで、小峰城歴史館のほうで今年の企画展が開かれています。その企画展の名前は「松平定信と渋沢栄一」という題の企画展であります。皆さんご承知のとおり、昨年の「青天を衝け」の大河ドラマの主人公であり、令和6年の一万円札の肖像画に採択をされ、今脚光を浴びている渋沢栄一とこの白河の関係をメインテーマにした企画展であります。渋沢栄一の生涯については、去年の「青天を衝け」の大河ドラマをまだ皆さん覚えておられるでしょうから、それにちなんだような展示が沢山あります。特に白河との

関係が深いところをメインにして、渋沢栄一の企画展示物が並んでいます。そして、その渋沢栄一が松平定信の寛政の改革で定めた七分積金のお金、町会所という所で江戸時代は管理していたわけですが、その町会所に関する資料があって、明治になってそれは東京市に移り共有金という名前になりまして、この共有金の管理について渋沢栄一が関与するようになります。共有金、明治の初期でNHKがよく言ってるんだと170億円。それは1両が1万円と換算して170億円です。白河の歴史の詳しい上村先生は、1両が1万っていうわけないだろう。おそらく今で言うんだったら、1両は10万位の価値があるんじゃないかという1,700億円のお金が貯まっていたわけです。それでいろいろな明治時代のインフラを作ったわけですが、それに関する資料等々が載っています。その共有金の中で使われたのが松平定信公の七分金積金の本来の趣旨である民衆救済、飢餓の起こった時でも誰一人餓死者を出さないようにという民衆救済のための制度ですから、それに基づいて明治期、士族がなくなって沢山困った人達が世の中増えていた明治の初期に、その困った方々を助けようというふうな事のためにお金を使う共有金を使うようになります。そのお金の管理を渋沢栄一がするようになったというわけでありまして、渋沢栄一は500の会社を作り、600の社会福祉事業をしたといいますが、70才になった時に大概のものを辞め、一番中心の今のみずほ銀行の頭取は喜寿になるまで務めましたけれども、それは大概みんな後任の後継の人たちにその自分のポジション、会長とか社長のポジションを譲ってしまいましたけれども、死ぬまで務めたのはその東京養育院の委員長を務めておられました。毎月13日、松平定信公の月命日の日に必ず東京養育院に登院してきて、松平定信を称えるような検証するような講和、卓話をするというのは日課だったそうです。年一回5月13日の時が、一番大変有名な大規模にやる松平定信公を称えるような記念式典を執り行っていました。定信公の没後100年の時に、渋沢栄一が中心になりまして没後100年を称える記念の展示会を大規模にやったんですけれども、その時に出品されたものが今回白河のほうに持ってきて展示されています。南湖神社のほうからも、松平定信公の楽則、定信公が書いた規則。自分に対する定め書きと、あと楽則自分に対する戒めを書いた掛け軸があるんですけど、そちらのほうを神社のほうから出して展示してあります。これは100年の時に東京で展示されて以来、初めて出るものでありますから、定信公の若い時の書なんです。是非ご覧になっていただけたらと思います。そういうふうな関係があった時に、白河のその当時の町の方が大正天皇の御大典記念で、南湖の池の浚渫事業をしていたのですけれども、池のどぶさらっても後に残らないというふうなことで、定信公を称える神

社を作ろうという活動を新たに起こすようになりました。その時の町長さん藤田新次郎さんという人が中心にやったんですけども、藤田新次郎さんが当時の町議会議員で、南湖の浚渫のために予算だった1千円を神社に対する、神社を建てようというための活動資金に予算を振り分けるのが町議会で可決された。現在、南湖神社が建っている所は白河町の土地だったんですけど、それを神社の境内地に寄付をするというふうな事を同じ議会で可決した。その時の、藤田新次郎さんのメモ帳が残っている。日記が残ってましてそれが展示されて、こんなに嬉しいことはないとその藤田新次郎さんはメモして書いてあったというふうなことが残ってますから、是非その町長さんのメモ書き、日記をご覧になっていただければと思います。それに伴って、渋沢栄一は白河の町の方々がそんなに沢山神社を作りたいって熱心に活動したものですから、それに対して協力をして岩崎弥太郎をはじめとする東京の財界の方々に寄付の依頼状の原稿を書いたわけですが、その原稿が同じく展示されています。それで神社を作ったわけですが、神社を作った時のその当時に書いた図面が残って展示されていたり、御神体として松平家からどのような物を貰ったかというふうな事を書いた記事が展示されています。これも神社のほうから初めて出しました。神社が大正11年にできたんですが、その2年後に渋沢栄一のほうから南湖公園の春の桜と秋のみじを、明治末から大正時代の日本画の画壇の最高峰の中の一人と言われる橋本雅邦という人と下村観山という人に描かせて、その描いた日本画のほうを神社のほうに寄贈してまして、その日本画二面が今回白河市の小峰城歴史館のほうに展示されています。鑑定団流に言うと、一面おそらく売ろうとすると五千万弱位ですから二つで一億、やったーと思って神社誰もお参り来なくなったら、それを売って私の生活資金にしたいと思ってる絵を特別に今回白河市さんのほうにお貸しをしたというわけでありまして、是非、11月13日までですからそちらのほうもご覧になっていただければと思っております。PRも含めてさせていただきます。ひとつどうぞ皆さん、小峰城歴史館のほうに行ってください。よろしくお願いたします。

